

## 教育・学生支援改革方針

本学は、破れ口にキリストの平和と和解の福音をもたらす、「福音を肌で感じさせるキリスト者」を育てる。そのために本学は、礼拝と祈りのプログラムを中心とした靈性の涵養、実践的なカリキュラムに基づく知性の獲得、TCU共同体における品性の練達・社会性の成熟を含む、全人格的な成長を目指す。

### 共同体方針

- 信仰共同体に属する教員、職員、学生が、神・自己・他者の間にある破れ口に気づき、キリストと共に破れ口に立って歩むべく、教派を超えて祈り、御言葉を聴き、賛美し、交わる。
- 学びの共同体に属する教員、職員、学生が文化・言語、年齢、性別、障がい、学力を超えて共に学ぶ。私たちは、キリスト教世界観と靈的形成の学びを土台とし、世界と地域にある破れ口を専門的な知識と技術をもって修復すべく神学、国際、福祉の専門領域について、理論と実践を通じて学ぶ。
- 生活共同体に属する教員、職員、学生が、信仰と学びの実践の場として、品性と社会性を身につけるべく、キリストと共に互いの弱さを担い、共に祈り、学び、生活する。

### 学生支援方針

- 国籍の違い、年齢、性別、障がいの有無、学力に応じて、全ての学科専攻において学生を支援する。
- 一人ひとりの学生の靈性（信仰面）、知性（学修面）、品性（人格面）、社会性（生活面）、経済面を統合的に支援する。
- 入学前から卒業後に至るまで学生の成長プロセスに応じた、切れ目のない支援を提供する（エンrollmentマネジメント体制）。
- 全学生の多様な側面をきめ細かく支援するために共同体による複層的な支援を実現し、教職員及びピアサポートによるセーフティネットを形成する。
- 全人格的な成長のためには個人の祈りやデボーションなどの静まる時間、心身の健康を維持するための積極的休息を確保することが重要である。そのため、学生の正課の学びと課外活動の負担を考慮し、バランスのとれた学びと生活ができるよう支援する。

2018年（平成30年）11月30日 学務会議承認